

河野房男教授研究一覽

A 歴史関係

題目

- 一 愚管抄に現われたる歴史観
- 一 後三条天皇の御讓位につきて
- 一 佐賀県における聚落（九州特輯号二）
- 一 徳川時代の家訓
- 一 後醍醐天皇の御製を拝して
- 一 大隈重信侯
- 一 孝明天皇の御宸翰を拝して
- 一 古代史における年時と史実の正確性
- 一 唐津藩における赤子養育法
- 一 白河院近臣団の一考察
- 1 任受領を中心として
- 2 藤原長実を中心として
- 3 藤原顕季について

掲載雑誌名

中等教育（佐賀県）	一三三	昭和一二・四
史淵（九大）	第一八号	昭和一三・四
地理歴史研究	第一六卷七号	昭和一四・七
精神文化研究所報告		昭和一五・一〇
中等教育（佐賀県）	一七号	昭和一六・四
肥前史談	第一五卷一二号	昭和一七・二
成蹊（佐女師）	一七号	昭和一七・三
宮崎県教育	第五三五号	昭和二二・一
西日本史学	第四号	昭和二五・九
日本歴史	第一四五号	昭和三五・七
日本歴史	第一五二号	昭和三六・二
日本歴史	第一五五号	昭和三六・八

発表年月

題 目

掲 載 雜 誌 名

発 表 年 月

一 白河院近臣藤原長実の家族について	歴史教育	第九卷八号	昭和三六・六
一 ヨセフ・ロルツ著教会史について、特に近代の一般的特徴	緑風(延岡緑ヶ丘学園)	創刊号	昭和三七・三
一 院政期の受領層	歴史教育	第一二卷六号	昭和三九・六
一 白河院政下の任内蔵頭について、特に藤原宗忠の場合	(別大) 史学論叢	創刊号	昭和四〇・一
一 白河・鳥羽両院政下の内蔵頭について	日本歴史	第二〇四号	昭和四〇・五
一 綸言汗の如し	歴史の海(別大)	第八号	昭和四二・六
一 後三条天皇の立坊と藤原能信	歴史教育	第一六卷九号	昭和四三・九
一 右府藤原宗忠の熊野参詣記について	歴史の海(別大)	第一〇号	昭和四三・九
一 撰関家と小野流	別大紀要	第一五輯	昭和四三・一〇
一 同	(別大) 史学論叢	四号	昭和四四・二
一 右大臣藤原宗忠と日野法界寺	同	右	昭和四五・一〇
一 右府藤原宗忠の仏教信仰	日本歴史	第三〇二号	昭和四八・七
一 同	同	右	昭和四八・八
一 同	(別大) 史学論叢	第三〇三号	昭和四八・八
一 右府藤原宗忠の教養とその周辺	同	右	昭和四八・二
一 承久京方張本公卿とその家系	同	右	昭和四九・四
	同	右	昭和五〇・一二

一 後三条天皇とその周辺の人々 (一)

一 同 右 (二)

一 小一条院敦明親王辞皇太子考

著書

一 平安王朝（竹内理三編）共著（白河天皇とその周辺）

一 宇佐市史上巻（古代）中巻（中世）共著

一 平安王朝（林陸朗編）共著（論集日本歴史3所収）

一 平安末期政治史研究

一 右府藤原宗忠と日野法界寺

B 教育関係

一 教育勅語渙発四拾周年を迎えて

一 吉林の旅

一 日本思想史としての本居学管見

一 時局と日本の世界における使命

一 今後の日本人

（別大）史学論叢

九号

昭和五三・二

同

一〇号

昭和五四・二

古代文化

三三九号

昭和五三・一二

人物往来社

昭和四〇・五

宇佐市史刊行会

昭和五〇・三

有精堂

昭和五一・六

東京堂出版

昭和五四・六

别大史学研究会

昭和五四・一一

会報（佐高女）

第一一

昭和六・一

同

第一三

昭和七・八

成蹊（佐女師）

第九号

昭和一二・二

パンフレット（佐女師）

昭和一二・一一

中等教育（佐賀県）

一五号

昭和一四・四

題 目	掲 載 雜 誌 名	発 表 年 月
一 世界に欠けているもの	成 蹊 (佐女師) 第一二号	昭和一五・二
一 先哲と国体護持を拝聴して	中等教育 (佐賀県) 一八号	昭和一七・九
一 麗わしきもの	就実 (宮女師) 第一六号	昭和一八・二
一 新しい学校の意味	宮崎県教育 五四六号	昭和二二・一二
一 新教育の思想的背景	宮崎県プリント	昭和二五・七
一 生徒福祉のために	パンフレット	昭和二六・一〇
一 特設時間による道德教育	教育広報九月号 (大分県教育委員会)	昭和二三・九
著 書		
一 内的進歩のために	東京印刷工文社	昭和二七・一一
一 麗わしき社会・文化建設のために	教育図書刊行会	昭和二九・七